

# 中小企業景況調査報告書

( 第 112回 )

平成20年10～12月期 実 績  
平成21年 1～3月期 見通し

平成21年 1 月

北海道商工会議所連合会

# 目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	5
(2) 今期の売上高	7
(3) 今期の採算（経常利益）	8
(4) 今期の資金繰り	10
(5) 今期の経営上の問題点	11
(6) 今期の従業員の動向	11
(7) 今期の新規設備投資	12
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	13
(2) 来期の売上高	14
(3) 来期の採算（経常利益）	14
(4) 来期の新規設備投資	15
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	15
2． 建 設 業	17
3． 卸 売 業	19
4． 小 売 業	20
5． サービス業	22
． 業 種 別 調 査 資 料	24

# 調査要領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成20年12月
- (2) 調査対象期間 平成20年10～12月期実績及び平成21年1～3月期の見通し

## 2. 調査対象

### (1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

### (2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

## 3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

## 4. 業種別・規模別回答状況（社数）

### (1) 中小企業景況調査

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	43	55	49	72	62	281
中規模	16	13	30	18	30	107
合計	59	69	74	89	93	384
構成比(%)	15.2	17.5	20.4	23.2	23.7	100.0

### (2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業15社、建設業17社、卸売業8社、  
小売業17社、サービス業29社、合計86社

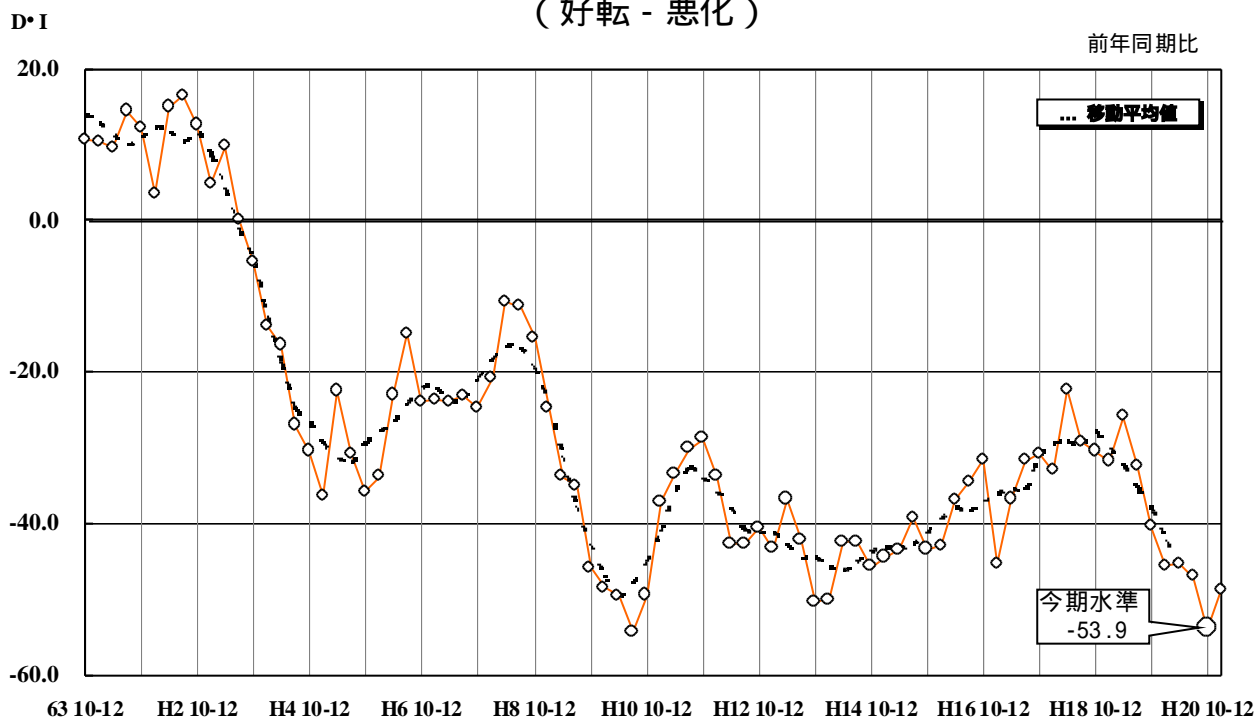
本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

# 概況

業況は一段と悪化、中でも建設業・サービス業はバブル崩壊後最低に迫る低水準へ

## 業況推移（全業種平均D・I） （好転 - 悪化）



### 今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（10月～12月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前期比（平成20年7月～9月期の水準と比較した今期の業況）では 44.0、前年同期比（平成19年10月～12月期の水準と比較した今期の業況）では 53.9と、業況は大幅に悪化した。

前回の調査（平成20年7月～9月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前期比で前回 33.2 今回 44.0と10.8ポイントマイナス幅を拡大しており、前年同期比では前回 47.0 今回 53.9と6.9ポイントマイナス幅を拡大している。

業種別では、前年同期比で製造 54.3、建設 63.3、卸売 40.2、小売 50.1、サービス 61.5となり、卸売業を除く4業種でマイナス幅が拡大、特に建設業とサービス業はバブル崩壊以降最悪の水準となった。

業況を札幌市とそれ以外の地域で見ると、業況D・Iは前年同期比で札幌市 50.3（前回調査 46.4）、札幌以外の地域 57.7（前回調査 47.3）となっており、札幌市に比べて札幌市以外の地域でマイナスの幅が大きくなっている。

来期の業況見通しは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成20年1月～3月期の水準と比較した来期の見通し）では 48.8と、業況は引き続き悪化の見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、全業種で「需要の停滞」（製造業35.2%、建設業29.0%、卸売業54.2%、小売業32.5%、サービス業39.2%）が大きな要因となっている他、製造業では「原材料価格の上昇」（40.5%）、建設業では「請負単価の低下・上昇難」（24.2%）、卸売業では「仕入単価の上昇」（15.6%）、小売業では「大型・中型店進出競争の激化」（15.1%）、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」（11.9%）などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で12.1%と、前回調査時（12.1%）より1.8%低下、来期新規設備を投入する予定と回答した企業は全業種平均で9.7%と、依然、慎重な動きが続いている。

### 産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 54.2（来期見通し 40.6）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成20年7月～9月期）時点からの推移では、前回 38.9 今回 54.2と15.3ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「原材料・資材の高騰」による採算の悪化を訴える声が出ています。

〔主なコメント〕

- ・製造量は前年並みだが、原材料は依然として高騰が続いており、採算は悪化している。

（製造業）

- ・需要の停滞により売上減少傾向が続いている上、原材料・資材の高騰の影響が利益を圧迫している。（パン・菓子製造業）
- ・仕入先より原材料・資材の値上げの要請を受けており、今期の収益悪化は避けられない状況。（水産加工業）
- ・円高で輸出に影響が出ている。（紙・パルプ製造業）

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 63.3（来期見通し 60.0）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成20年7月～9月期）時点からの推移では、前回 58.1 今回 63.3と5.2ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「公共工事や新築工事の減少」による売上の低下や「競争の激化」による利益率の悪化などの声が目立つ。

〔主なコメント〕

- ・公共工事の受注が依然少なく、建設関連業者の自主廃業や倒産が目立つ。（建設業）
- ・サブプライムローン問題以降、ユーザーの将来不安により、新築工事は全く受注できない状況。（建設業）
- ・公共工事の縮減による収入源に加え、競争入札制度で適正利益を確保できない状況。（建設業）

**【卸売業】 [業況D・I値(前年同期比) 40.2(来期見通 37.3)]**

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成20年7月～9月期)時点からの推移では、前回 44.5 今回 40.2と4.3ポイントマイナス幅を改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「他業種の廃業の影響」により収益が減少したとの声が目立つ。

〔主なコメント〕

- ・製造業の企業倒産・撤退が深刻化し、管内に製造拠点をもつ企業が減少したことにより、物流が滞っている。(卸売業)
- ・原油価格は下がったものの、株価下落による市場への影響等問題は未だ多く、引き続き予断を許さない状況。(卸売業)
- ・得意先の廃業により、代金回収ができず売上に影響がでている。(酒卸売業)

**【小売業】 [業況D・I値(前年同期比) 50.1(来期見通 49.5)]**

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成20年4月～6月期)時点からの推移では、前回 47.2 今回 50.1と2.9ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「個人消費の低迷」や「観光客の減少」などによる売上の減少を訴える声が多い。

〔主なコメント〕

- ・季節製品の売上が見込めなかった、冬物に期待したい。布物の繊維製品については、仕入価格が上昇しており、今後売上に影響がでると思われる。(衣料品小売業)
- ・薬事法の改訂にともなう異業種(コンビニ・量販店)の参入により、客数が減少した。(薬局)
- ・商店街の人通りが少なく、各店の売上は低迷している。(商店街)
- ・各社との価格競争が厳しいため価格に反映できず、採算面で悪化が予想される。来店客数は維持しているが、個別の買上点数は減っている。(小売業)
- ・外国人観光客が目立って激減している。地域経済の悪化により、単一企業の努力限界を超えており、極めて厳しい状況にある。(土産小売業)

**【サービス業】 [業況D・I値(前年同期比) 61.5(来期見通 56.7)]**

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成20年4月～6月期)時点からの推移では、前回 46.1 今回 61.5と15.4ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは「利用客の減少」に加え「需要の停滞」による採算・業況悪化の声が多く寄せられている。

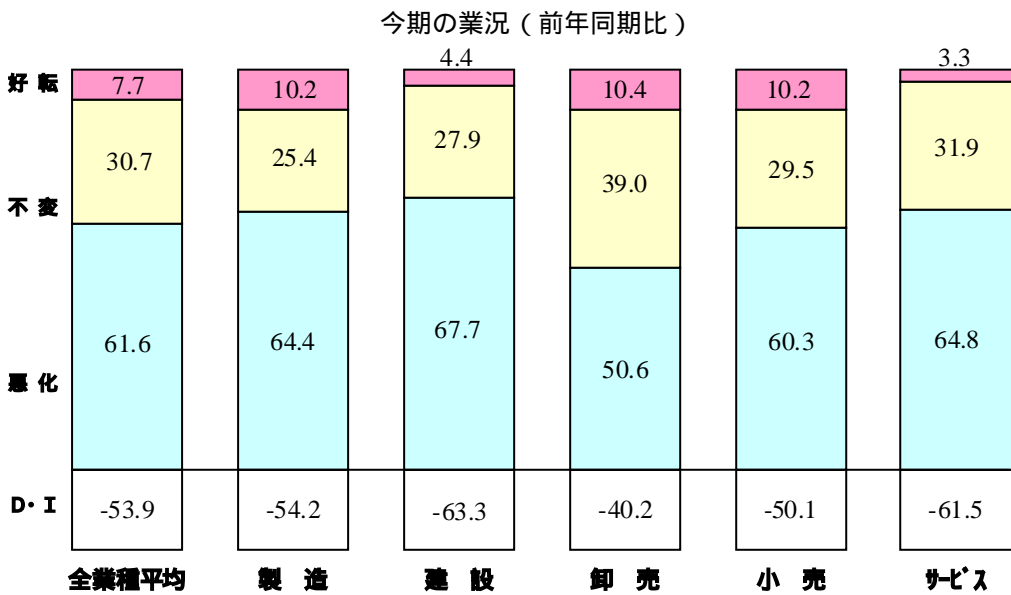
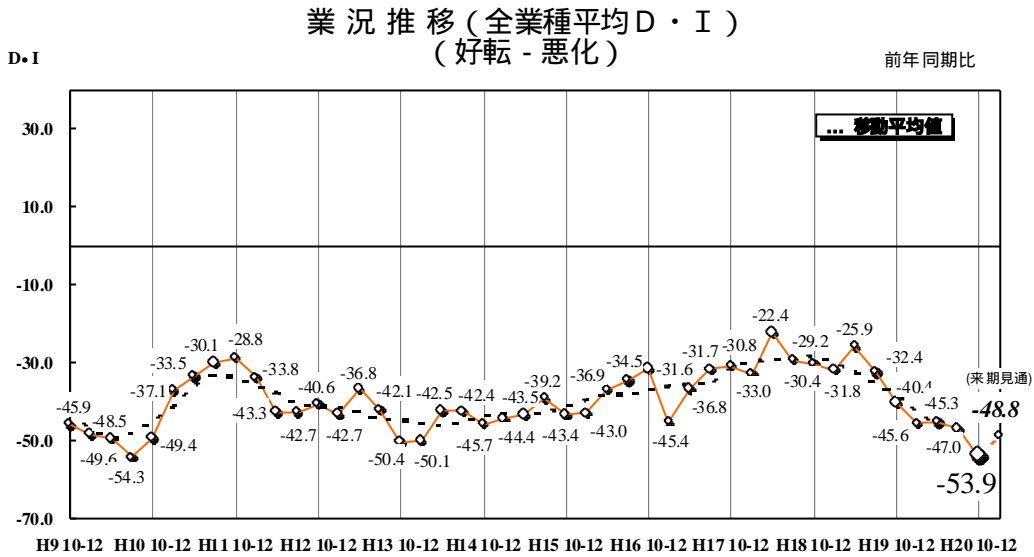
〔主なコメント〕

- ・12月からの燃料下落により費用の軽減になっているが、以前の燃料高騰分を料金への価格転嫁ができなかったため、燃料下落がどこまで続くかが鍵となっている。(クリーニング)
- ・消費者の外出控えからか、利用客数が減少しており収入減となっている。(レストラン)
- ・景気の先行き不安からか、解約が増加している。(金融保険業)
- ・ガソリン価格は下がったが、軽油の価格は高止まりしており採算は悪化している。(運輸)

# 1. 今期の業況

## (1) 今期の業況

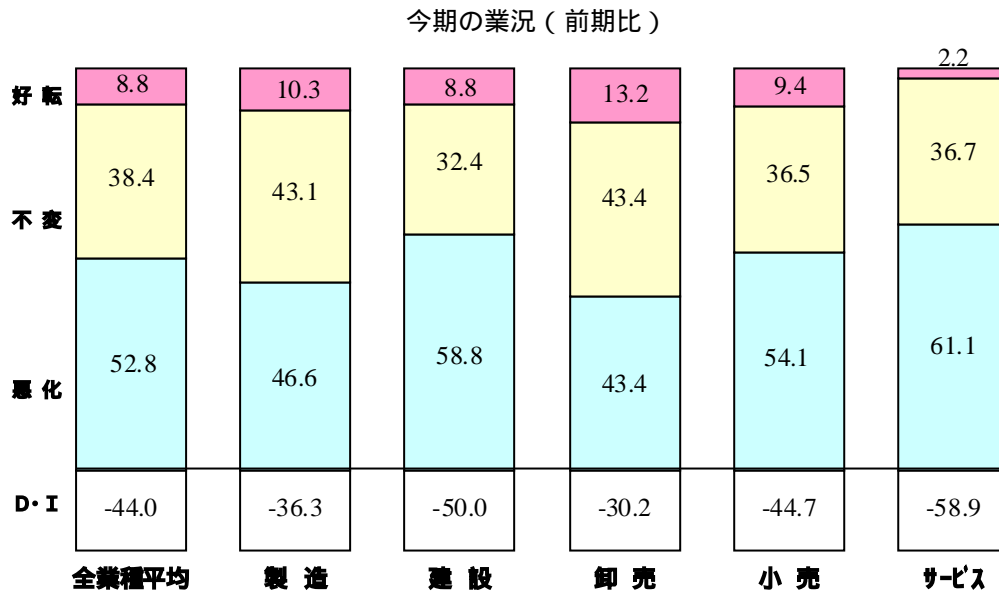
【前年同期比】（平成19年10～12月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 **53.9**〔前回調査時（平成20年7～9月期 47.0）より6.9ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 38.9 54.2〕、建設〔前回 58.1 63.3〕  
卸売〔前回 44.5 40.2〕、小売〔前回 47.2 50.1〕  
サービス〔前回 46.1 61.5〕

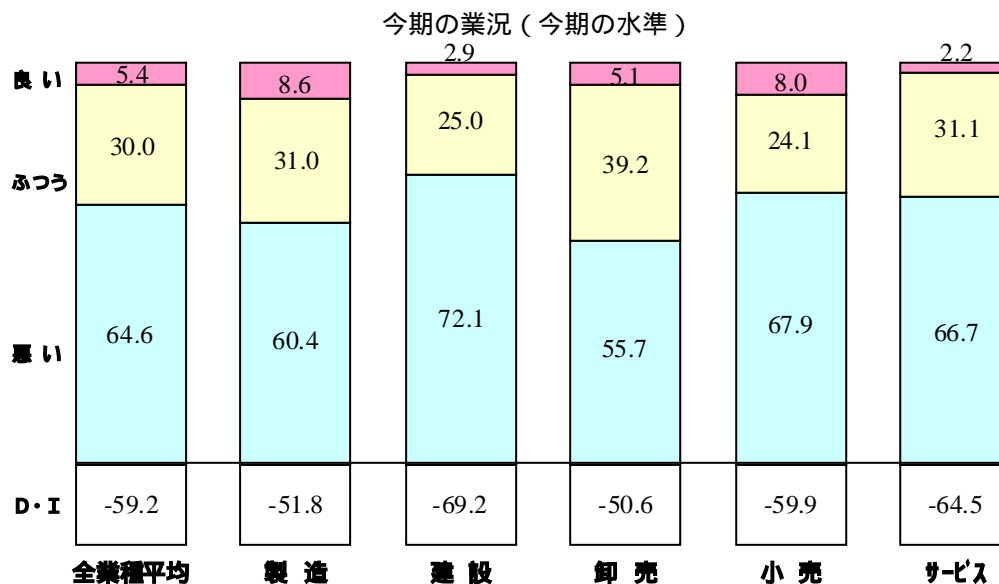
【前期比】（平成20年7～9月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 **44.0**〔前回調査時（平成20年7～9月期 33.2）より10.8ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 23.7 36.3〕、建設〔前回 39.2 50.0〕  
卸売〔前回 31.1 30.2〕、小売〔前回 33.0 44.7〕  
サービス〔前回 38.8 58.9〕

【今期の水準】



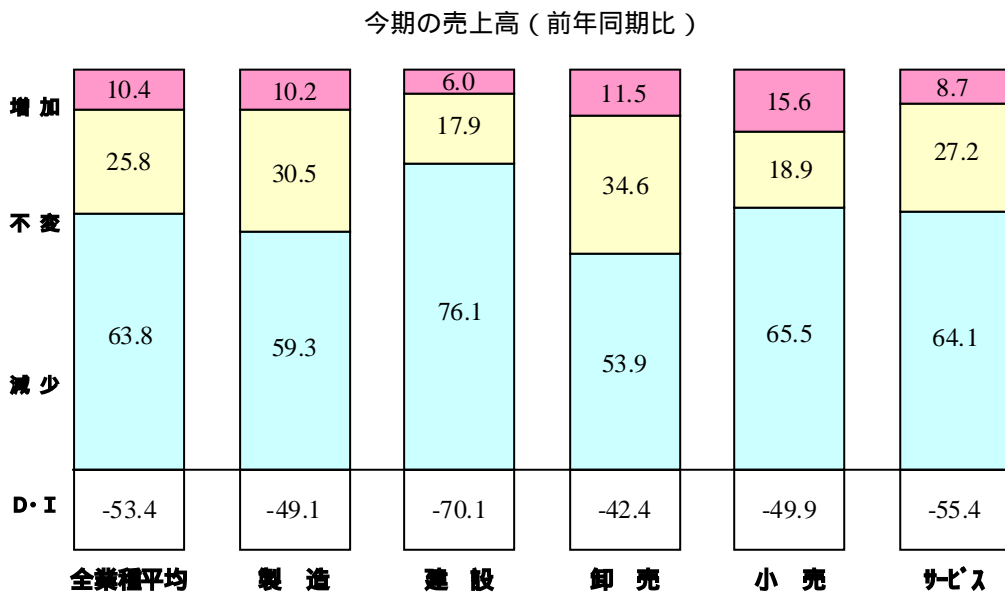
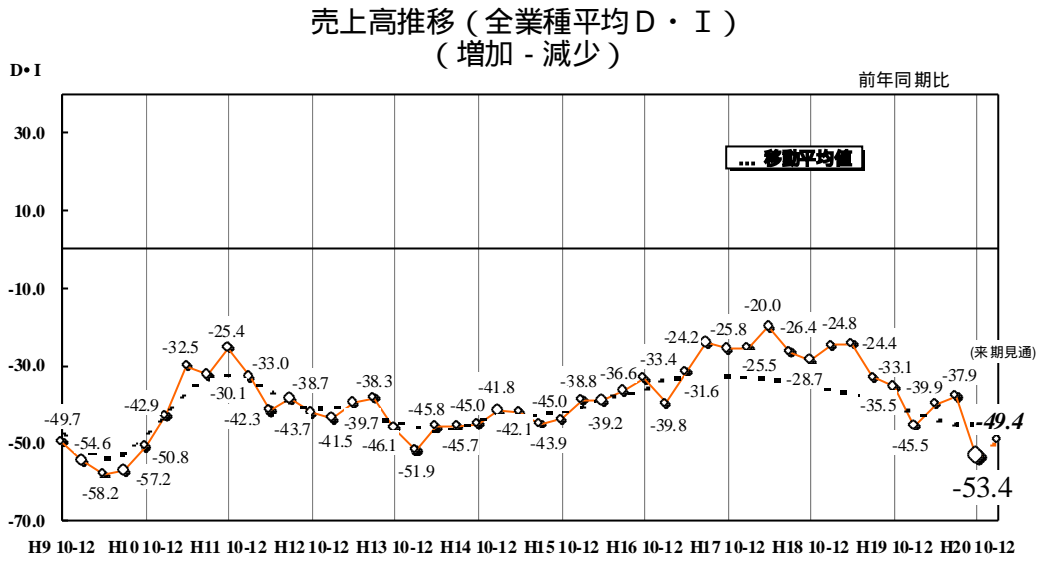
全業種平均でD・I値 **59.2**〔前回調査時（平成20年7～9月期 50.1）より8.9ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 42.3 51.8〕、建設〔前回 56.5 69.2〕  
卸売〔前回 52.0 50.6〕、小売〔前回 47.6 59.9〕  
サービス〔前回 52.1 64.5〕



(2) 今期の売上高

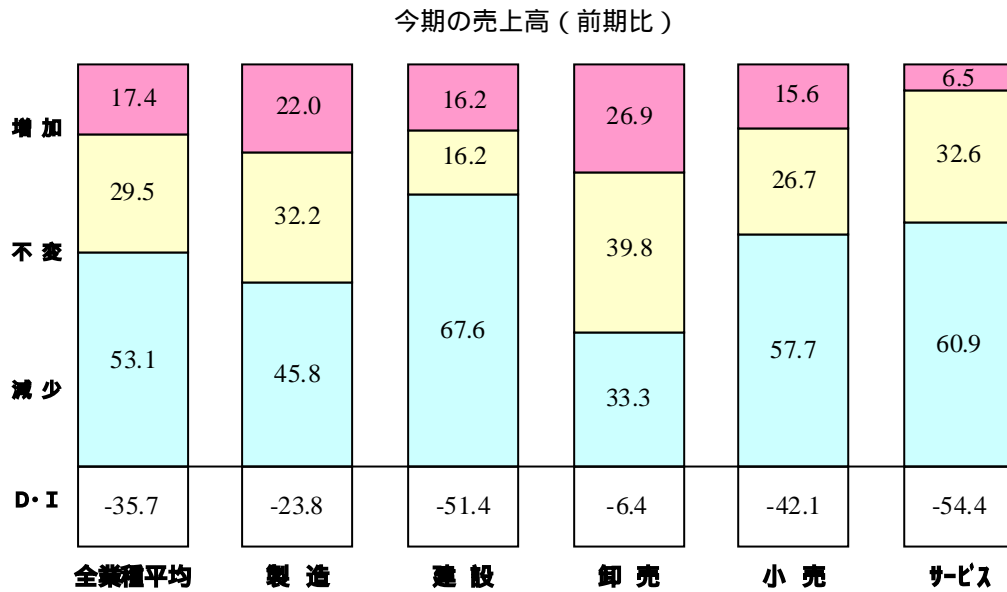
【前年同期比】（平成19年10～12月期の水準と比較した今期の売上高）



全業種平均でD・I値 **53.4**〔前回調査時（平成20年7～9月期 37.9）より2.0ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 25.5 49.1〕、建設〔前回 51.4 70.1〕  
卸売〔前回 32.4 42.4〕、小売〔前回 38.3 49.9〕  
サービス〔前回 42.0 55.4〕

【前期比】（平成20年7～9月期の水準と比較した今期の売上高）

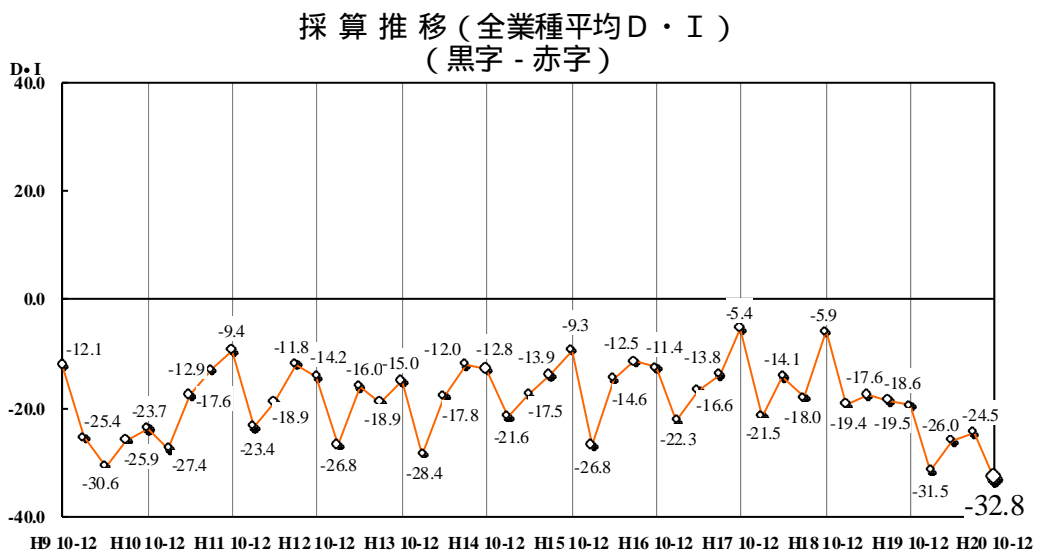


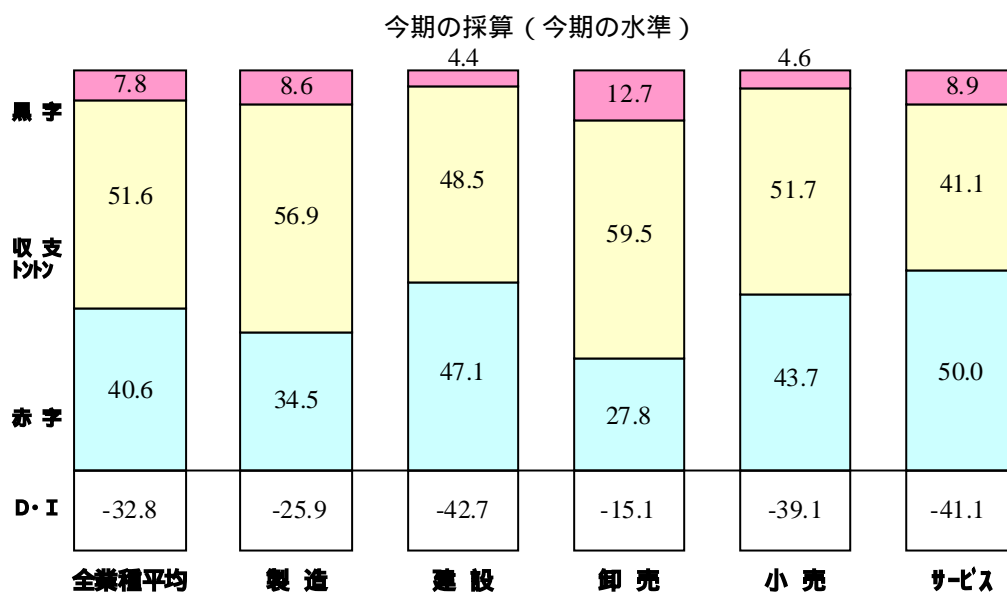
全業種平均でD・I値 **35.7**〔前回調査時（平成20年7～9月期 20.3）より6.7ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 1.7 23.8〕、建設〔前回 15.9 51.4〕  
 卸売〔前回 18.9 6.4〕、小売〔前回 27.3 42.1〕  
 サービス〔前回 37.7 54.4〕

(3) 今期の採算（経常利益）

【今期の水準】

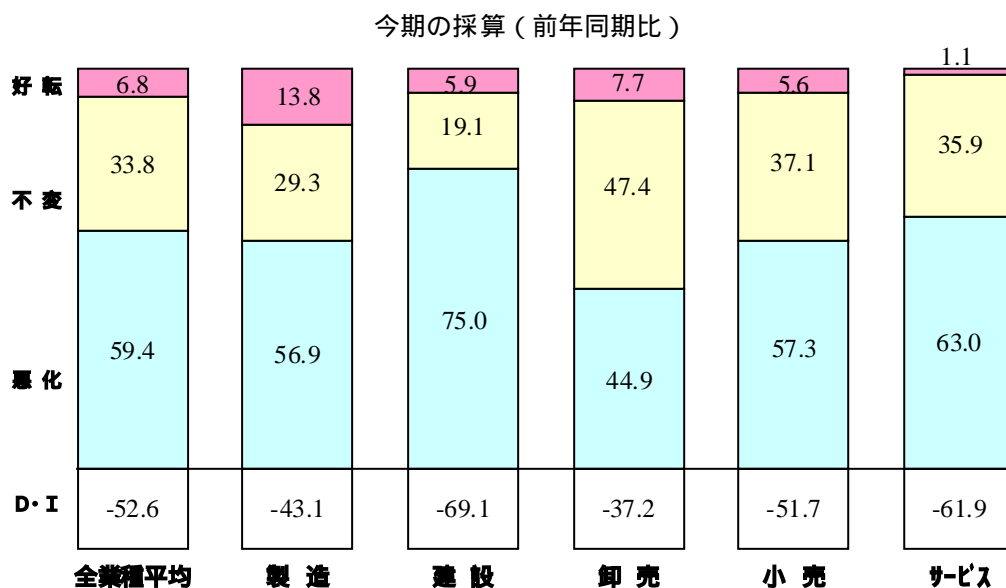




全業種平均でD・I値 **32.8**〔前回調査時（平成20年7～9月期 24.5）より8.3ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 13.5 25.9〕、建設〔前回 38.2 42.7〕  
 卸売〔前回 13.7 15.1〕、小売〔前回 33.0 39.1〕  
 サービス〔前回 23.9 41.1〕

**【前年同期比】**（平成19年10～12月期の水準と比較した今期の採算）

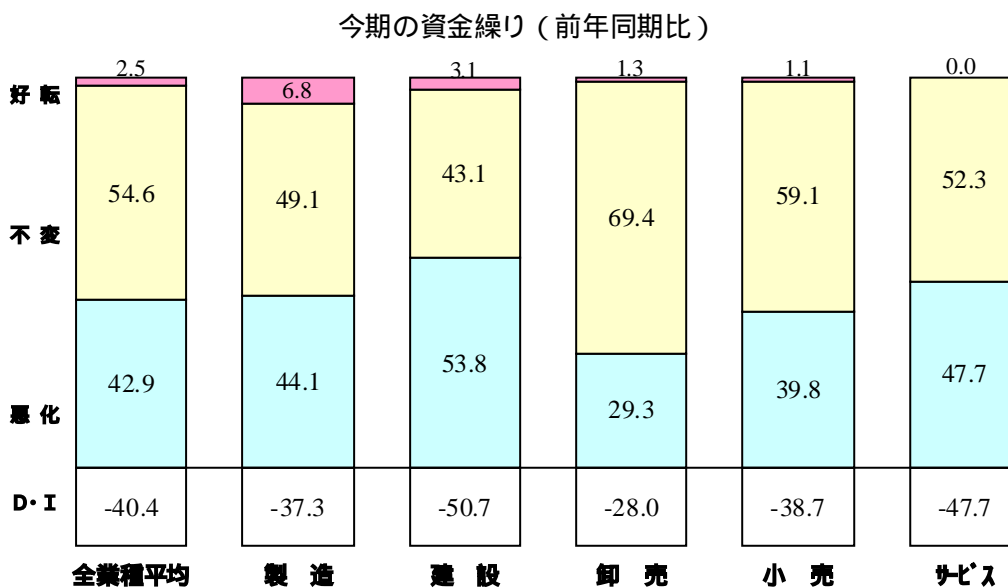
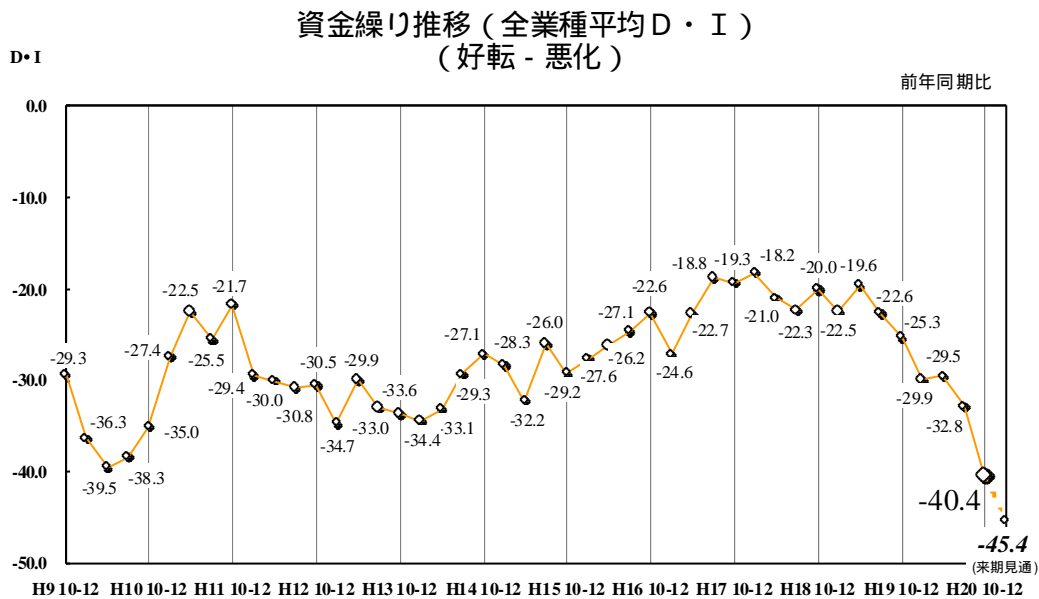


全業種平均でD・I値 **52.6**〔前回調査時（平成20年7～9月期 46.4）より6.2ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 35.5 43.1〕、建設〔前回 58.9 69.1〕  
 卸売〔前回 41.1 37.2〕、小売〔前回 51.1 51.7〕  
 サービス〔前回 45.6 61.9〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成19年10～12月期の水準と比較した今期の資金繰り）



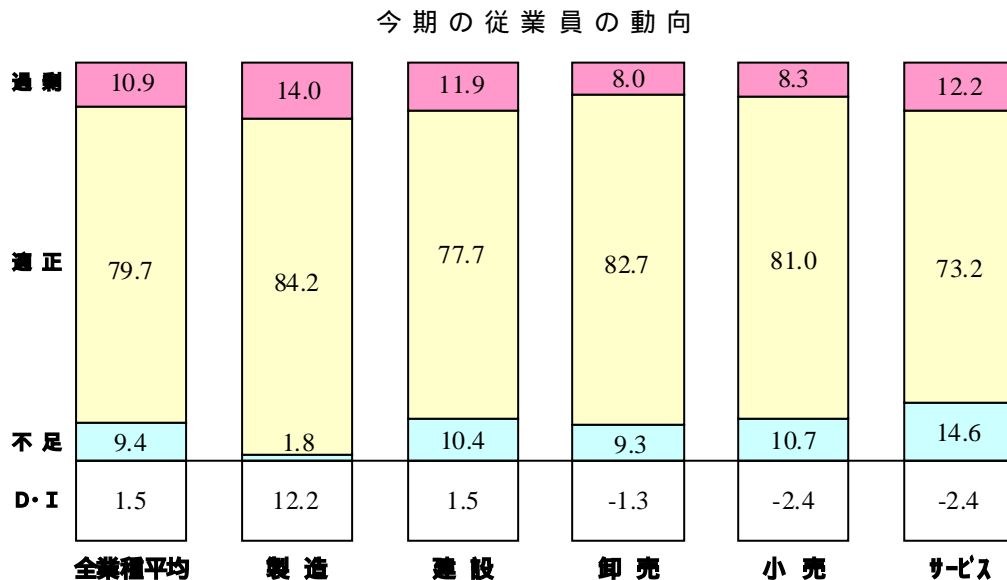
全業種平均でD・I値 **40.4**〔前回調査時（平成20年7～9月期 32.8）より7.6ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 27.1 37.3〕、建設〔前回 35.3 50.7〕  
卸売〔前回 26.0 28.0〕、小売〔前回 39.1 38.7〕  
サービス〔前回 36.4 47.7〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「原材料価格の上昇」	(40.5%) [前回 49.8%]
	「需要の停滞」	(35.2%) [前回 27.8%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(13.0%) [前回 9.3%]
建設業	「官公需要の停滞」	(29.0%) [前回 30.8%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(24.2%) [前回 18.5%]
	「民間需要の停滞」	(21.2%) [前回 24.6%]
卸売業	「需要の停滞」	(54.5%) [前回 50.9%]
	「仕入単価の上昇」	(15.6%) [前回 17.4%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(7.8%) [前回 7.2%]
小売業	「需要の停滞」	(32.5%) [前回 29.4%]
	「大型・中型店進出競争の激化」	(15.1%) [前回 17.5%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(10.5%) [前回 12.9%]
サービス業	「需要の停滞」	(39.2%) [前回 32.8%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(11.9%) [前回 12.0%]
	「人件費以外の経費の増加」	(9.5%) [前回 12.0%]

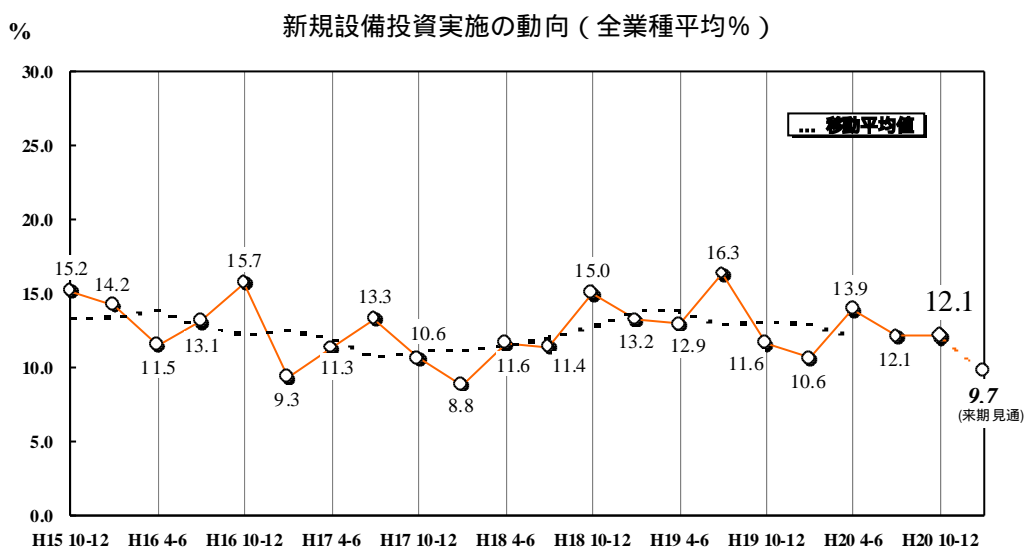
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では1.5〔前回調査時（平成20年7～9月期 1.4）〕と「過剰」に傾斜しているが、「適正」（79.7%）とする企業が大勢を占めている。

- [業種別D・I値] 製造〔前回 5.2 12.2〕（適正84.2%）  
 建設〔前回 1.4 1.5〕（適正77.7%）  
 卸売〔前回 7.4 1.3〕（適正82.7%）  
 小売〔前回 6.4 2.4〕（適正81.0%）  
 サービス〔前回 0.0 2.4〕（適正73.2%）

## (7) 今期の新規設備投資



### 今期の新規設備投資の動向

（単位％）

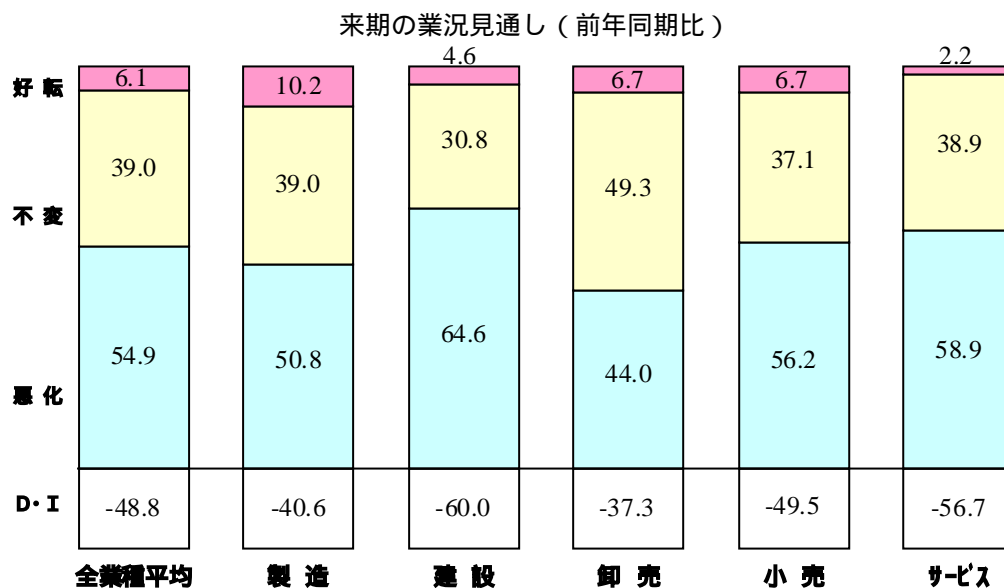
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	11.9	10.4	15.2	8.9	14.1	12.1
土地	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9
工場建物、建物、店舗	0.0	0.0	8.3	12.5	23.1	8.8
生産・販売・サービス設備、建設機械	42.9	14.3	8.3	12.5	38.5	23.3
車両運搬具	28.6	14.3	33.3	12.5	15.4	20.8
倉庫・駐車場等の付帯施設	0.0	42.9	0.0	0.0	30.8	14.7
O A 機器	42.9	28.6	50.0	62.5	23.1	41.4
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	3.1
その他	0.0	14.3	8.3	12.5	7.7	8.6
実施していない	88.1	89.6	84.8	91.1	85.9	87.9

新たに設備投資を実施した企業は平均で**12.1%**〔前回調査時（平成20年7～9月期12.1%）〕、業種別では製造〔前回13.8% 11.9%〕、建設〔前回13.2% 10.4%〕、卸売〔前回8.1% 15.2%〕、小売〔前回10.3% 8.9%〕、サービス〔前回15.2% 14.1%〕と、卸売業を除く4業種で前回調査時の水準を下回った。

## 2. 来期の見通し

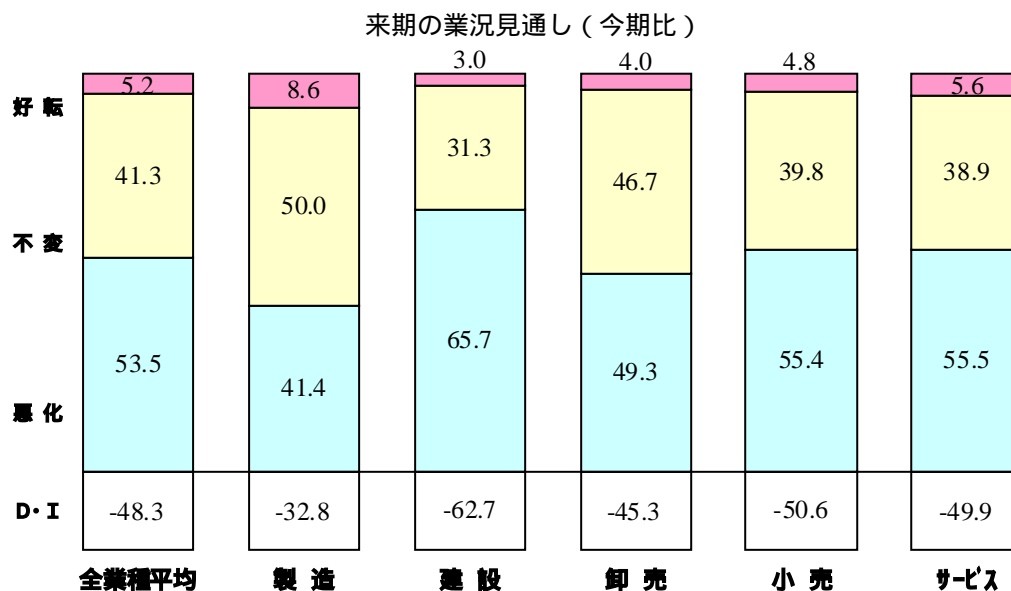
### (1) 来期の業況

【前年同期比】（平成20年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）



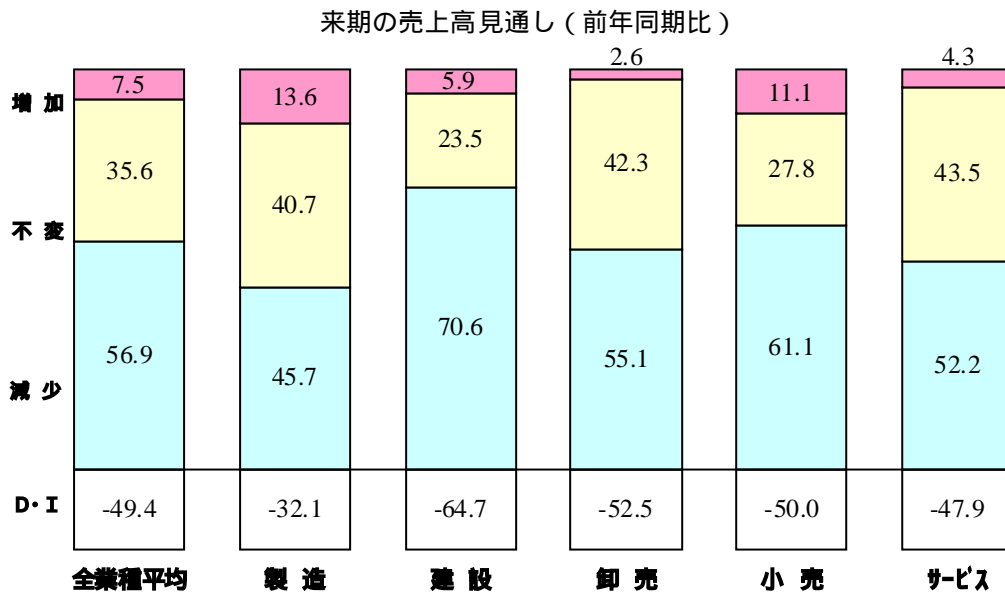
全業種平均でD・I値 **48.8**〔今期の業況（前年同期比 53.9）より5.1ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

【今期比】（平成20年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）



(2) 来期の売上高

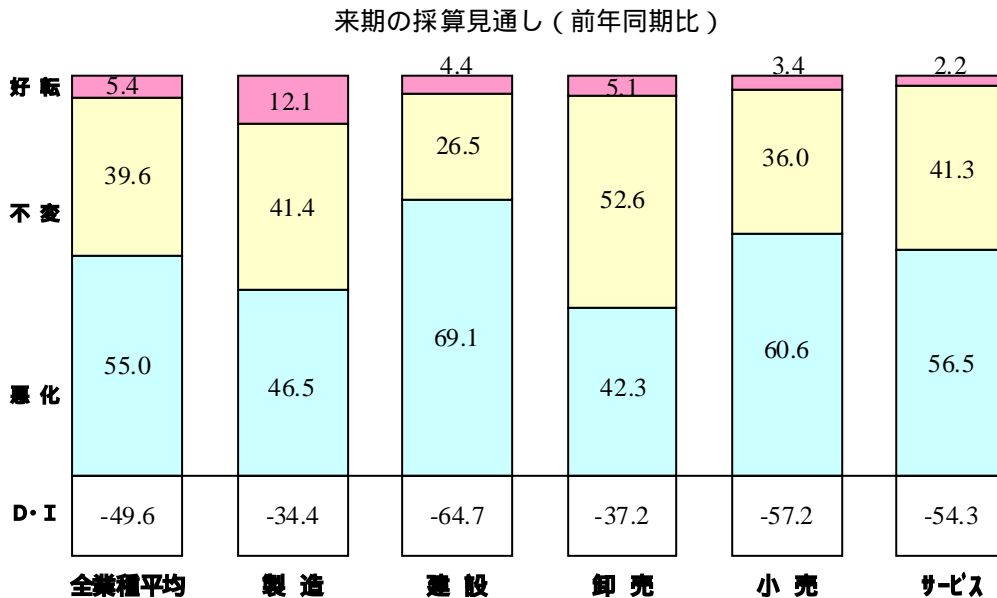
【前年同期比】（平成20年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 49.4〔今期の売上高（前年同期比 53.4）より4.0ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成20年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 49.6〔今期の採算（前年同期比 52.6）より3.0ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。



## (4) 来期の新規設備投資

### 来期の新規設備投資の動向

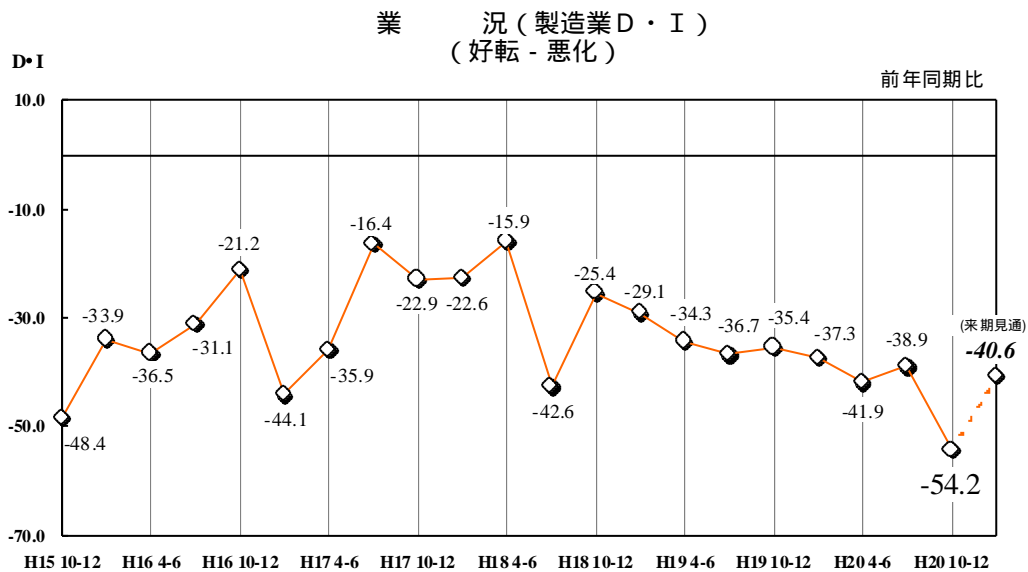
(単位%)						
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	10.2	10.4	11.5	6.7	9.9	9.7
土地	0.0	0.0	0.0	16.7	11.1	5.6
工場建物、建物、店舗	0.0	14.3	11.1	33.3	11.1	14.0
生産・販売・サービス設備、建設機械	50.0	0.0	33.3	33.3	33.3	30.0
車両運搬具	0.0	28.6	22.2	50.0	22.2	24.6
倉庫・駐車場等の付帯施設	33.3	14.3	0.0	16.7	22.2	17.3
OA機器	0.0	71.4	44.4	33.3	44.4	38.7
厚生施設	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	2.2
その他	16.7	0.0	11.1	0.0	11.1	7.8
	89.8	89.6	88.5	93.3	90.1	90.3

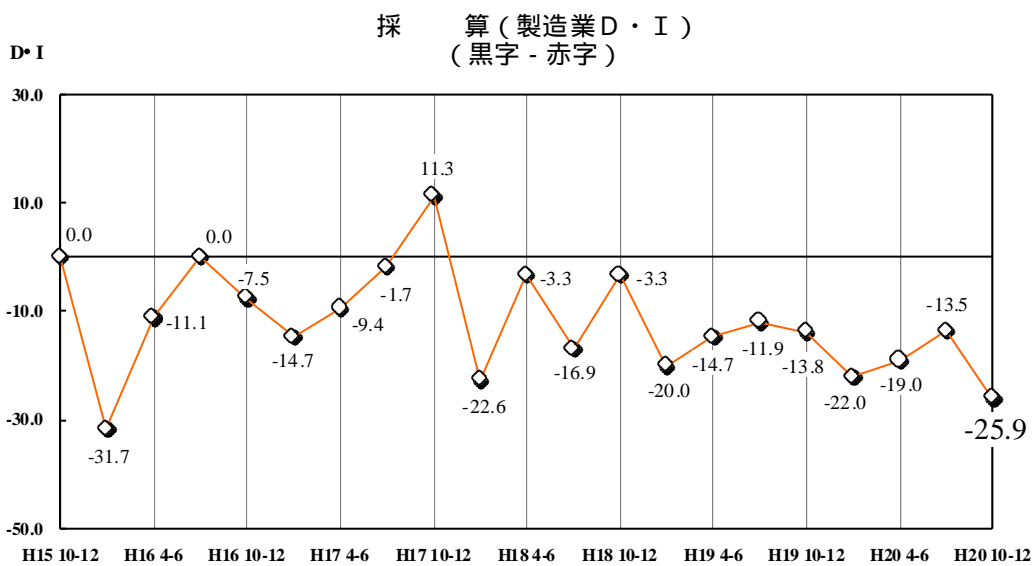
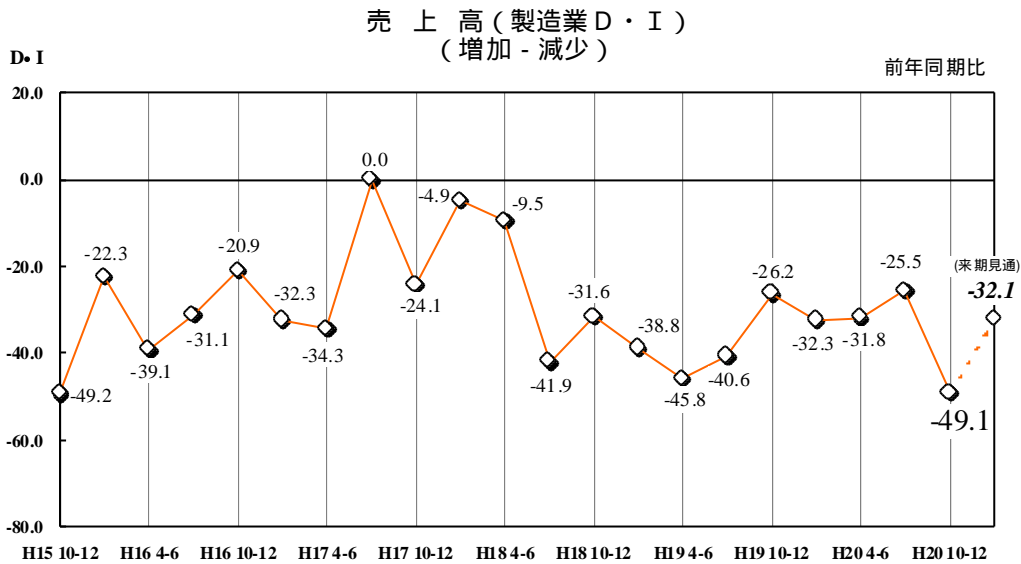
新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**9.7%**となっており、今期(12.1%)を下回る見通し。

業種別では、製造〔今期11.9% 10.2%〕、建設〔今期10.4% 10.4%〕、卸売〔今期15.2% 11.5%〕、小売〔今期18.9% 6.7%〕、サービス〔今期14.1% 9.9%〕となっている。

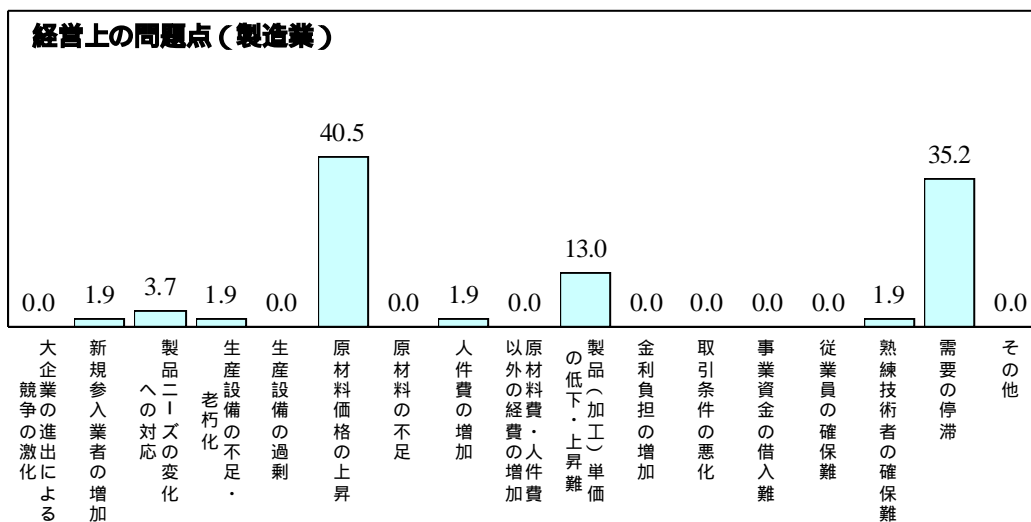
## 業種別の動向

### (1) 製造業





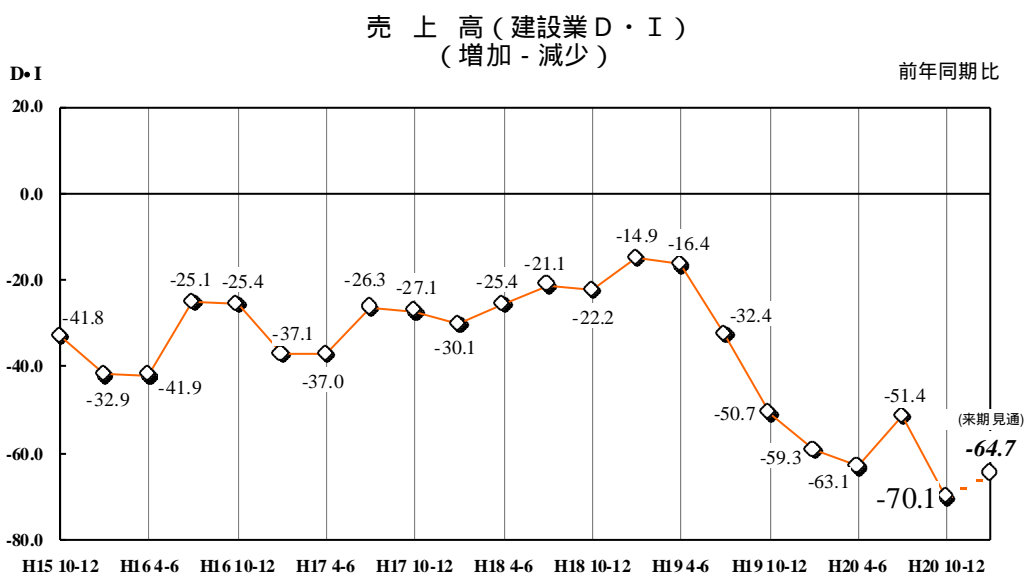
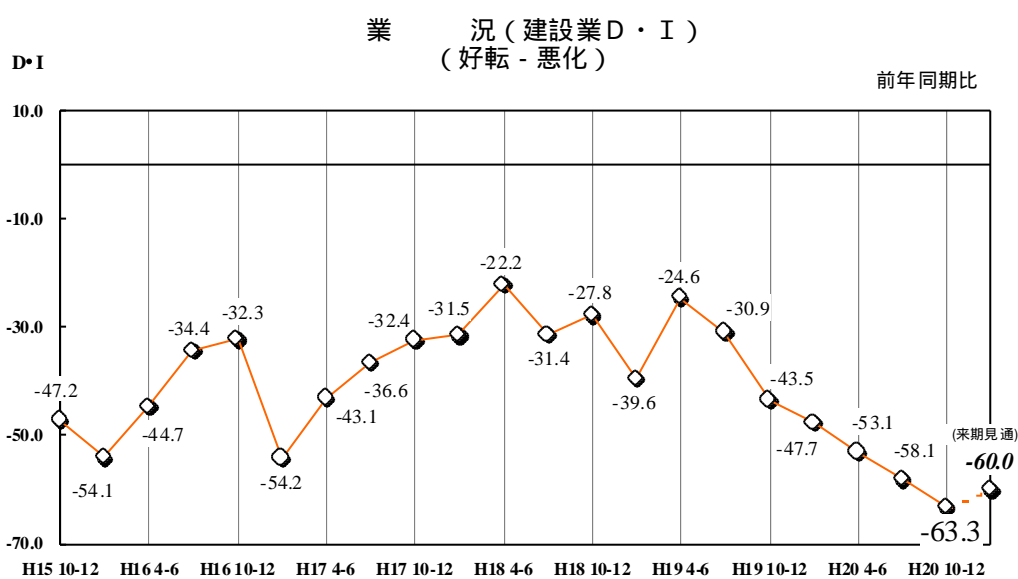
## 経営上の問題点



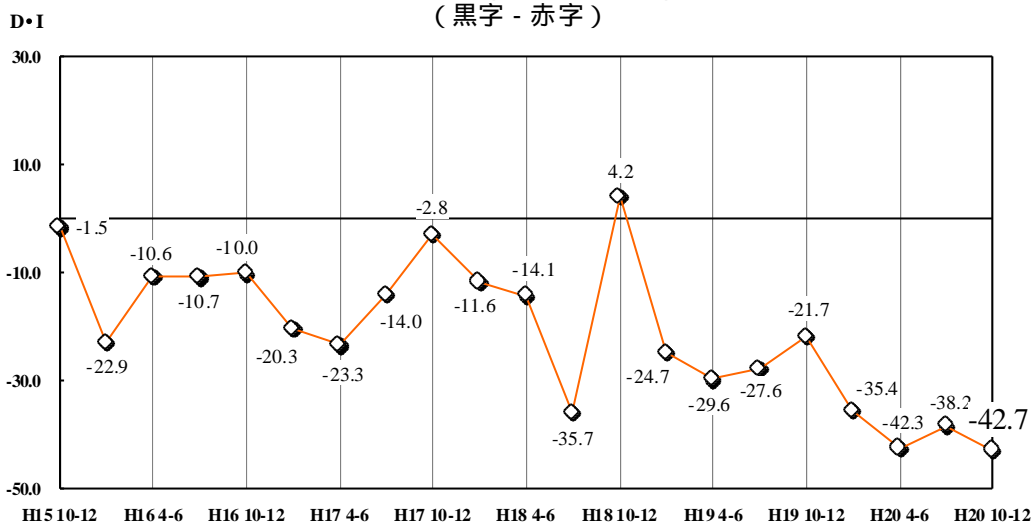
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	37.3	33.9	42.4 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	12.8	14.3 (今期比)
短期 "	-----	7.5	7.4 (今期比)
設 備 操 業 率	31.5	-----	33.3 (前年同期比)

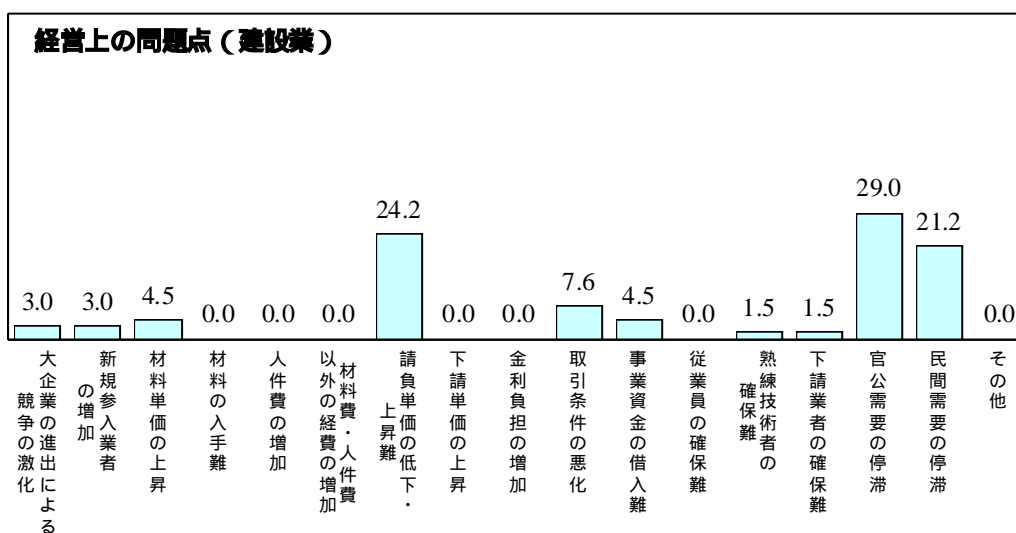
(2) 建 設 業



採 算 (建設業D・I)  
(黒字 - 赤字)



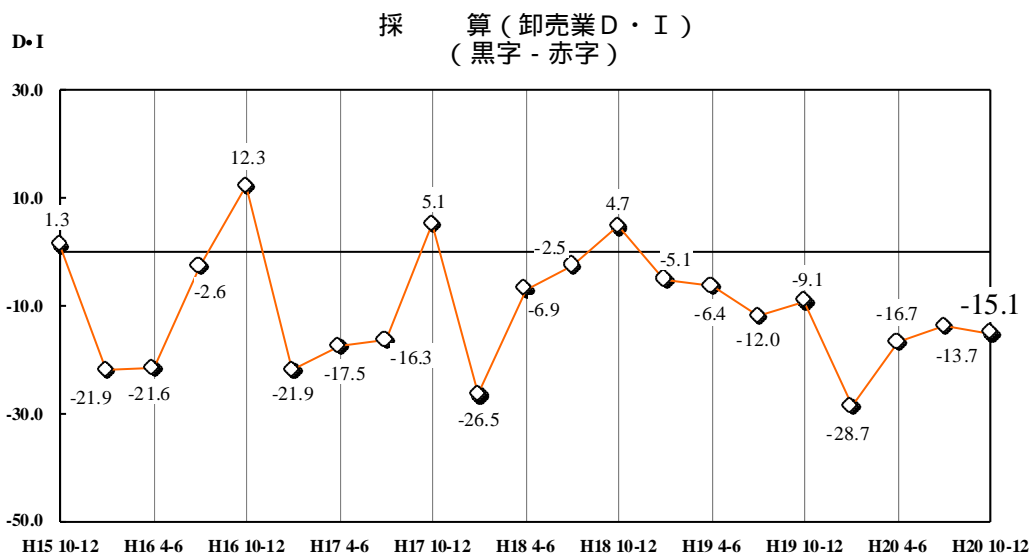
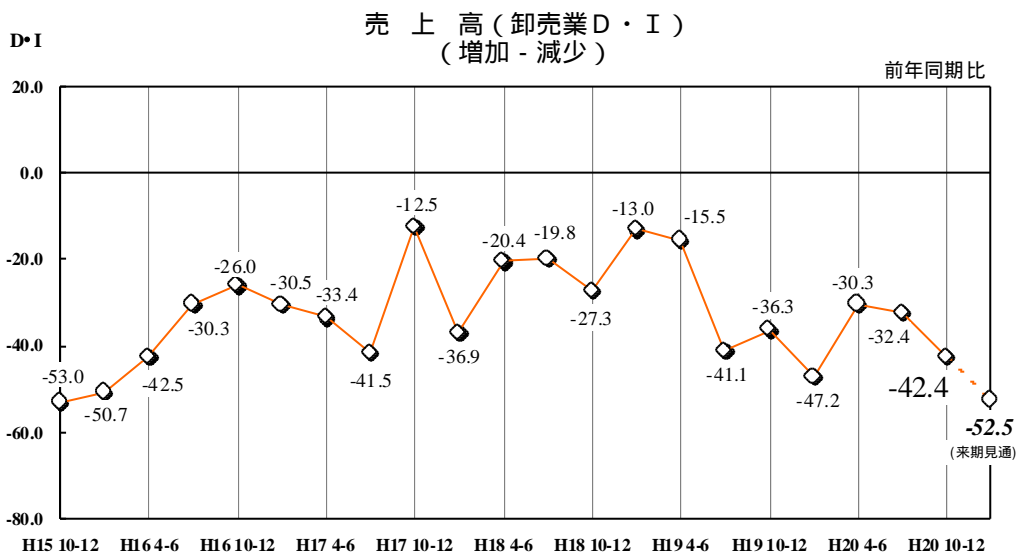
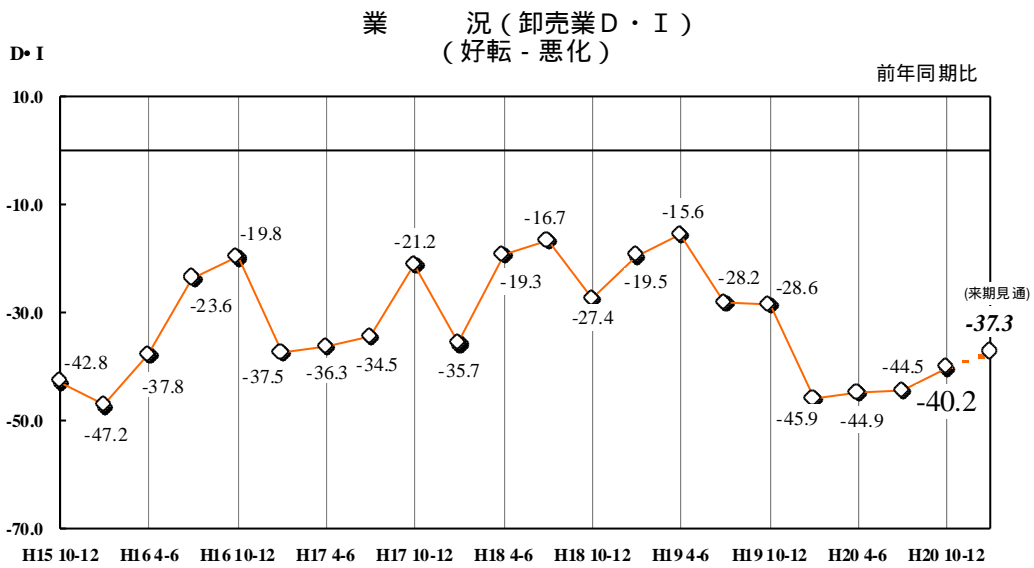
経営上の問題点



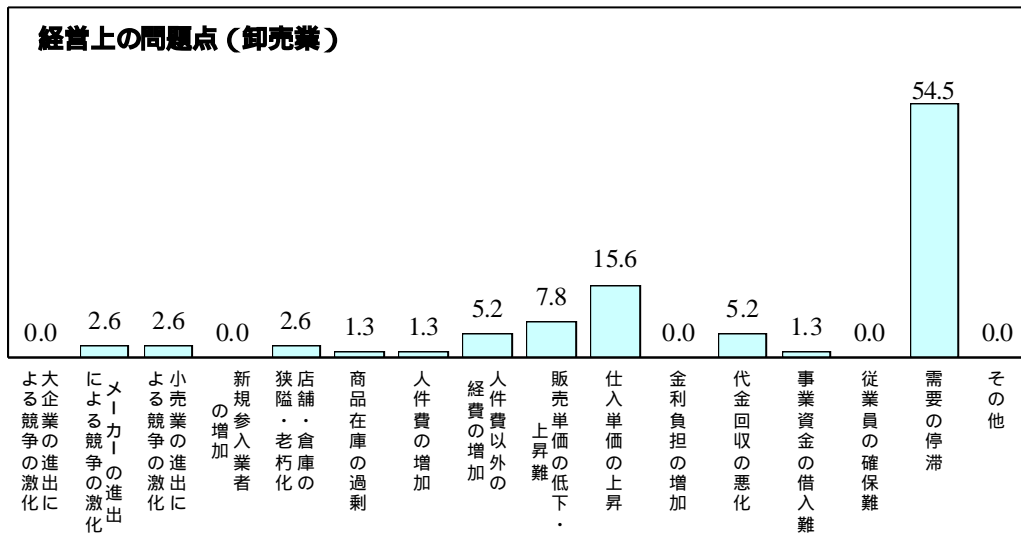
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	50.7	50.1	62.2 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	27.9	29.5 (今期比)
短期 "	-----	18.6	20.3 (今期比)
受注(新規契約工事)額	67.6	-----	58.3 (前年同期比)

### (3) 卸 売 業



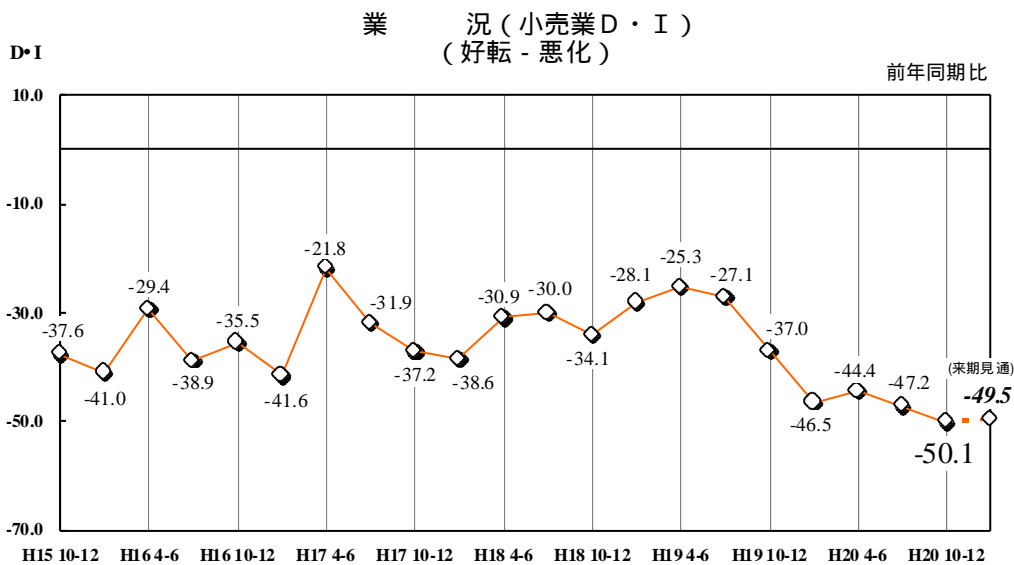
## 経営上の問題点

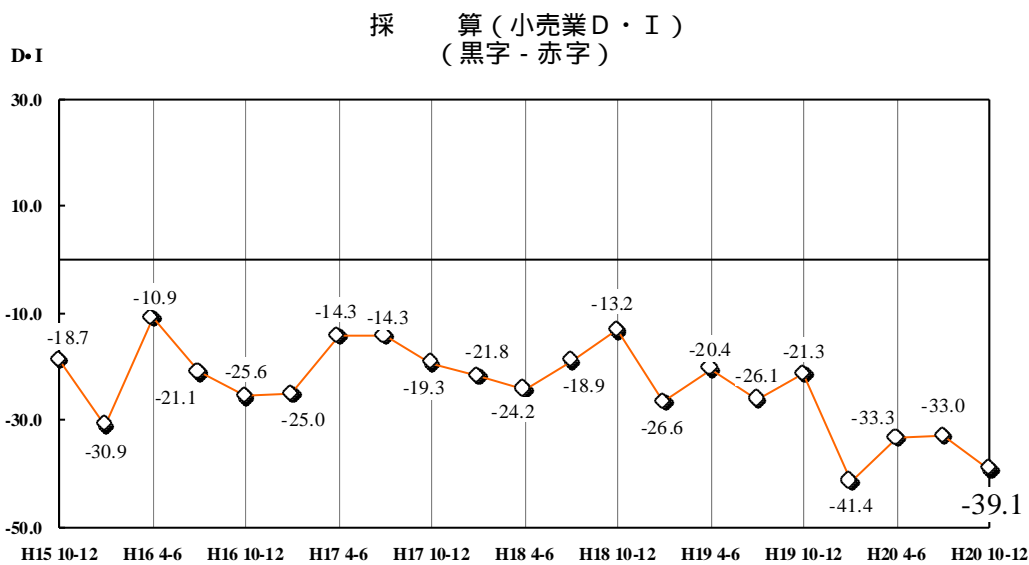
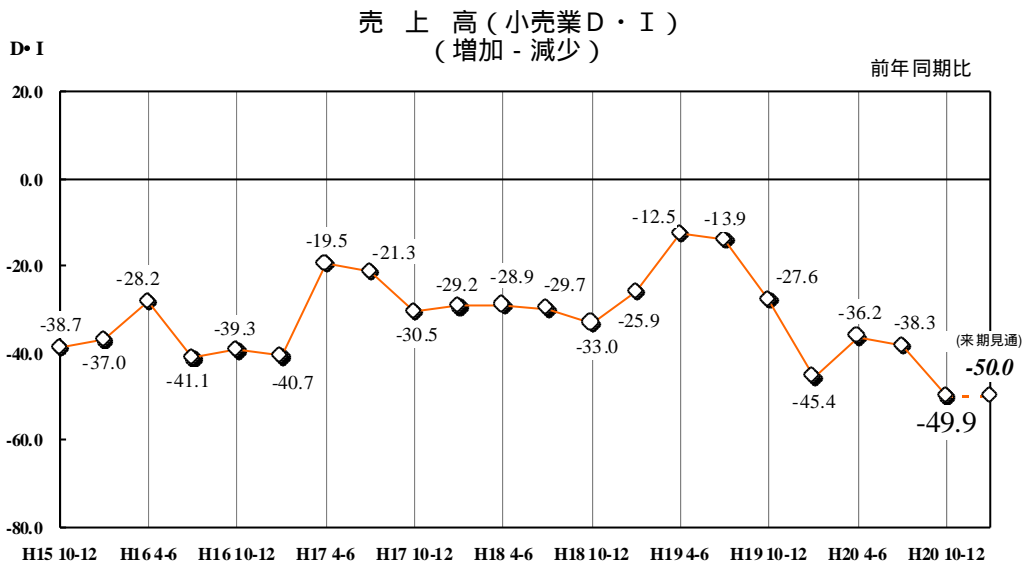


## その他（D・I値）

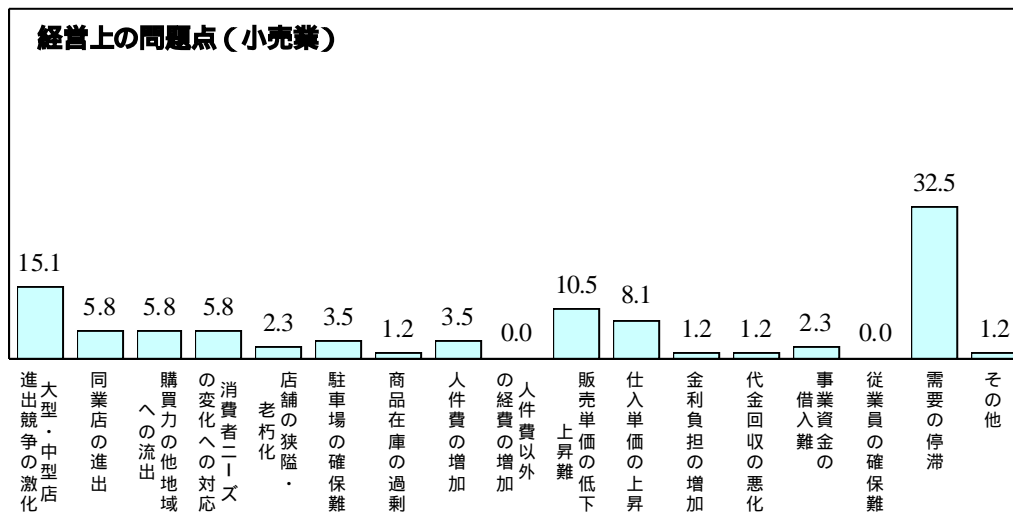
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	28.0	20.3	33.3 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	11.1	11.3 (今期比)
短期 "	-----	8.7	8.8 (今期比)
商品在庫数量	20.8	-----	29.5 (前年同期比)

## (4) 小 売 業





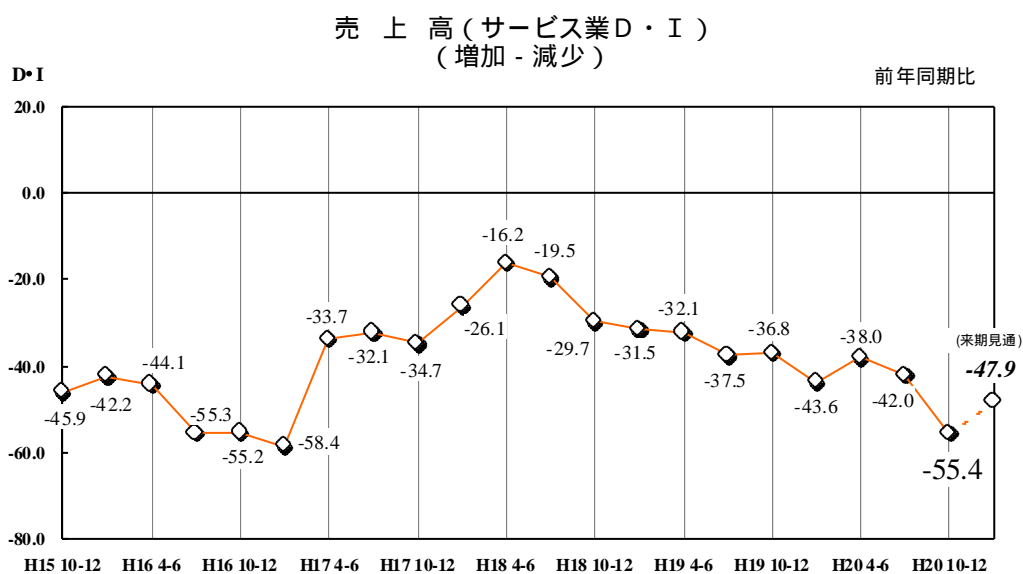
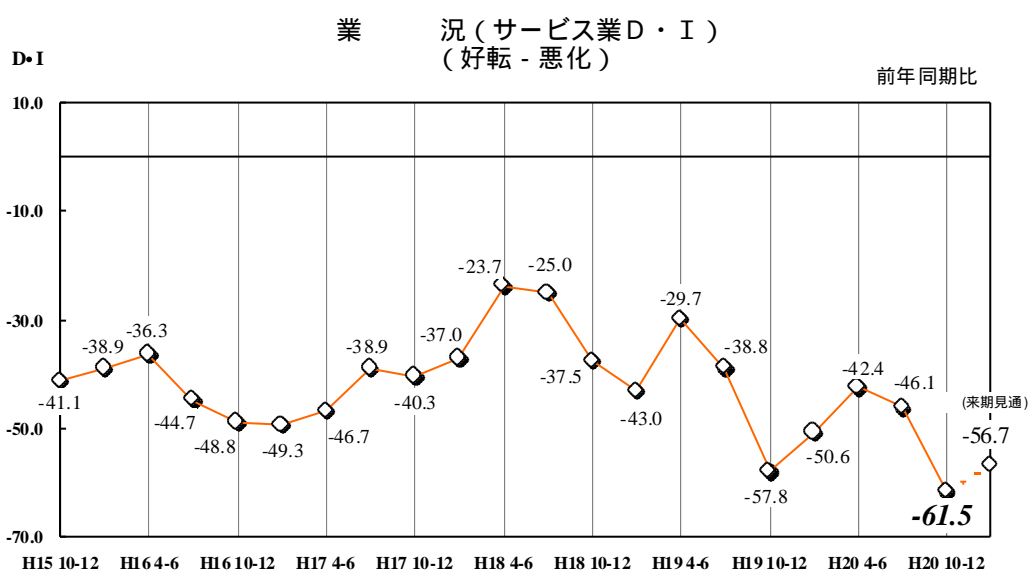
## 経営上の問題点



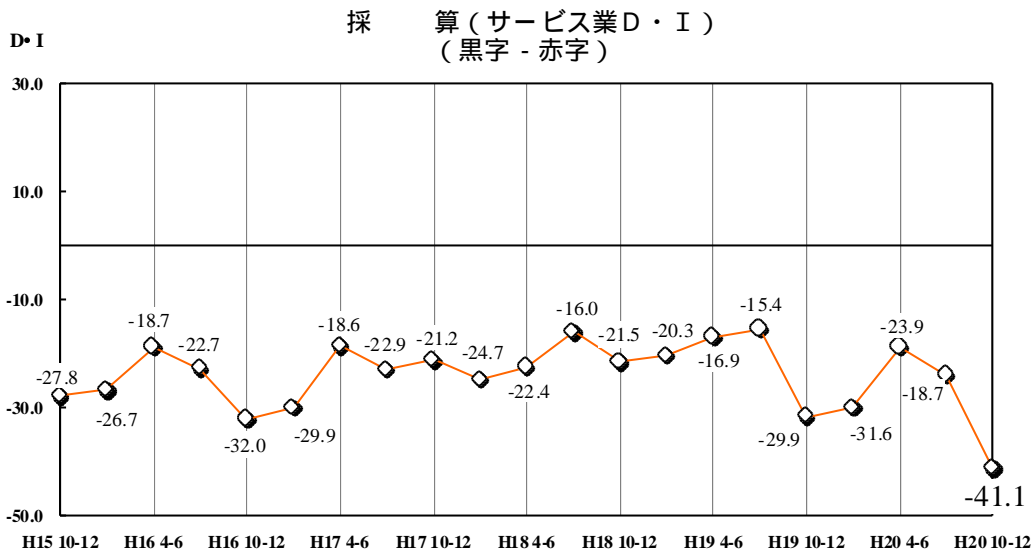
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	38.7	41.6	46.1 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	19.5	25.0 (今期比)
短期 //	-----	17.2	22.5 (今期比)
商品在庫数量	20.0	-----	31.1 (前年同期比)

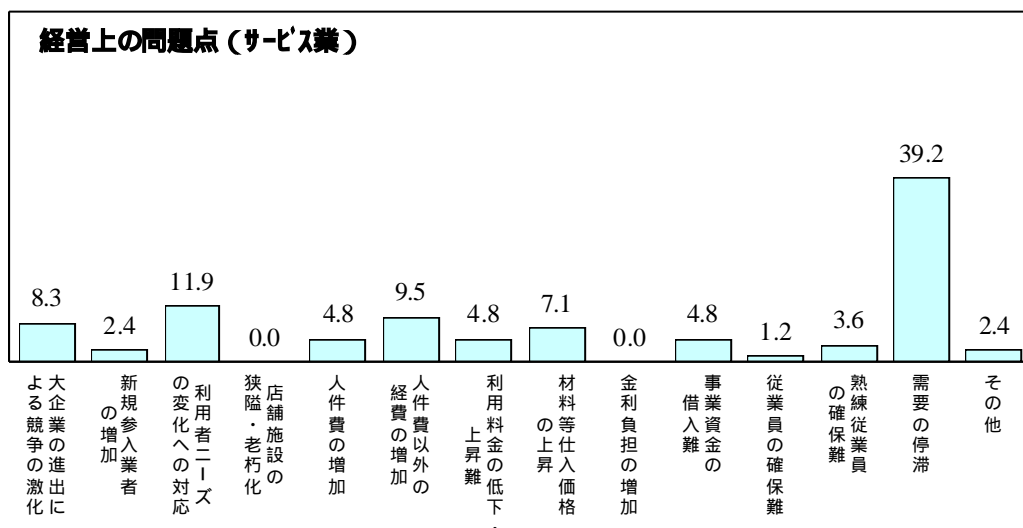
(5) サービス業







### 経営上の問題点



### その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	47.7	44.2	43.0 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	37.1	37.5 (今期比)
短期 "	-----	30.6	30.6 (今期比)
利用客数	55.8	46.6	44.4 (前年同期比)

# 業種別調査資料

## 1. 製造業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期 (平成20年10月～12月) の水準			
	今	期	前	D・I
業 況 (自 社)	8.6	31.0	60.4	-51.8
生 産 対 する 原 材 料 在 庫	7.7	88.5	3.8	3.9
売 上 対 する 製 品 在 庫	8.3	89.6	2.1	6.2
採 算 (経 常 利 益)	8.6	56.9	34.5	-25.9
引 合 計	8.8	29.8	61.4	-52.6
生 産 設 備	17.9	75.0	7.1	10.8
従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	14.0	84.2	1.8	12.2

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ぶつう、適正、収支トントン  
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成19年10月～12月)に比べて				前期(平成20年7月～9月)に比べて				前年同期(平成19年10月～12月)と比べた 来 期(平成21年1月～3月)の見通し			
	前	年	同	D・I	前	期	前	D・I	前	年	同	D・I
A 売 上 (加 工) 額	10.2	30.5	59.3	-49.1	22.0	32.2	45.8	-23.8	13.6	40.7	45.7	-32.1
B 売 上 (加 工) 単 価	22.0	50.9	27.1	-5.1	16.9	61.1	22.0	-5.1	13.6	52.5	33.9	-20.3
C 売 上 (加 工) 数 量	10.3	31.0	58.7	-48.4	15.5	37.9	46.6	-31.1	13.8	34.5	51.7	-37.9
D 資 金 繰 り	6.8	49.1	44.1	-37.3	5.1	55.9	39.0	-33.9	5.1	47.4	47.5	-42.4
E 輸 出 額	0.0	100.0	0.0	0.0					0.0	100.0	0.0	0.0
F 原 材 料 仕 入 単 価	75.0	23.2	1.8	73.2					55.3	42.9	1.8	53.5
G 原 材 料 在 庫 数 量	3.8	81.1	15.1	-11.3					1.9	83.0	15.1	-13.2
H 製 品 在 庫 数 量	2.1	72.9	25.0	-22.9					2.1	66.6	31.3	-29.2
I 採 算 (経 常 利 益)	13.8	29.3	56.9	-43.1					12.1	41.4	46.5	-34.4
J 従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	7.0	73.7	19.3	-12.3					5.3	77.2	17.5	-12.2
K 外 部 人 材 (請 負・派 遣)	18.8	62.4	18.8	0.0					12.5	65.6	21.9	-9.4
L 設 備 採 買 率	11.1	46.3	42.6	-31.5					7.4	51.9	40.7	-33.3
M 引 合 計	6.9	37.9	55.2	-48.3								
N 受 注 残	3.8	49.0	47.2	-43.4								
	10.2	25.4	64.4	-54.2	10.3	43.1	46.6	-36.3	10.2	39.0	50.8	-40.6
O 業 況 (自 社)	前年同期(平成19年10月～12月)に比べて				前期(平成20年7月～9月)に比べて				今 来 期(平成20年10月～12月)と比べた 来 期(平成21年1月～3月)の見通し			
P 受 取 手 形 期 間					0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	41.4	-32.8
Q 長 期 資 金 借 入 難 度					3.6	80.0	16.4	-12.8	3.6	78.5	17.9	-14.3
R 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					5.7	81.1	13.2	-7.5	5.6	81.4	13.0	-7.4
S 借 入 金 利					19.2	75.0	5.8	13.4	18.9	79.2	1.9	17.0

↗ : 増加      ↗ : 上昇      ↗ : 好転      ↗ : 長期化      ↗ : 容易  
 - : 不変(A, C, E, G, H, J, K, M, N)      - : 不変 (B, F, L, S)      - : 不変 (D, I, O)      - : 不 変 (P)      - : 不 変 (Q, R)  
 ↘ : 減少      ↘ : 低下      ↘ : 悪化      ↘ : 短期化      ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	11.9	14.3	0.0	42.9	28.6	0.0	42.9	0.0	0.0	88.1
来 期	10.2	0.0	0.0	50.0	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	89.8

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大 企 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	0.0	3.7
新 規 参 入 業 者 の 増 加	1.9	3.7
製 品 ニ ー ズ の 変 化 へ の 対 応	3.7	11.1
生 産 設 備 の 不 足・老 朽 化	1.9	7.4
生 産 設 備 の 過 剰	0.0	0.0
原 材 料 価 格 の 上 昇	40.5	72.2
原 材 料 の 不 足	0.0	1.9
人 件 費 の 増 加	1.9	9.3
原 材 料 費・人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	0.0	13.0
製 品 (加 工) 単 価 の 低 下・上 昇 難	13.0	51.9
金 利 負 担 の 増 加	0.0	5.6
取 引 条 件 の 悪 化	0.0	13.0
事 業 資 金 の 借 入 難	0.0	5.6
従 業 員 の 確 保 難	0.0	1.9
熟 練 技 術 者 の 確 保 難	1.9	3.7
需 要 の 停 滞	35.2	68.5
そ の 他	0.0	1.9

## 2. 建設業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区分	今期(平成20年10月～12月)の水準			
	今	期	前	D・I
業況(自社)	2.9	25.0	72.1	-69.2
採算(経常利益)	4.4	48.5	47.1	-42.7
引合	7.9	30.2	61.9	-54.0
従業員(含臨時・パート)	11.9	77.7	10.4	1.5

▲：良い、過剰、黒字、活発  
 ○：ふつう、適正、収支トントン  
 ▼：悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成19年10月～12月)に比べて				前期(平成20年7月～9月)に比べて				前年同期(平成19年10月～12月)と比べた 来期(平成21年1月～3月)の見通し			
	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I
A 完成工事(請負工事)額	6.0	17.9	76.1	-70.1	16.2	16.2	67.6	-51.4	5.9	23.5	70.6	-64.7
B 資金繰り	3.1	43.1	53.8	-50.7	3.0	43.9	53.1	-50.1	1.5	34.8	63.7	-62.2
C 受注(新規契約工事)額	7.4	17.6	75.0	-67.6					10.4	20.9	68.7	-58.3
D 材料仕入単価	78.8	16.7	4.5	74.3					60.0	30.8	9.2	50.8
E 採算(経常利益)	5.9	19.1	75.0	-69.1					4.4	26.5	69.1	-64.7
F 従業員(含臨時・パート)	8.8	67.7	23.5	-14.7					8.8	69.1	22.1	-13.3
G 外部人材(請負・派遣)	8.2	73.8	18.0	-9.8					6.7	73.3	20.0	-13.3
H 引合	12.7	20.6	66.7	-54.0								
I 契約残(未消化工事高)	11.3	32.3	56.4	-45.1								
	4.4	27.9	67.7	-63.3	8.8	32.4	58.8	-50.0	4.6	30.8	64.6	-60.0
J 業況(自社)	前年同期(平成19年10月～12月)に比べて				前期(平成20年7月～9月)に比べて				今期(平成20年10月～12月)と比べた 来期(平成21年1月～3月)の見通し			
									3.0	31.3	65.7	-62.7
K 受取手形期間					10.2	87.8	2.0	8.2	10.2	89.8	0.0	10.2
L 長期資金借入難度					1.6	68.9	29.5	-27.9	1.6	67.3	31.1	-29.5
M 短期資金借入難度(含手形割引)					3.4	74.6	22.0	-18.6	3.4	72.9	23.7	-20.3
N 借入金					23.3	70.0	6.7	16.6	20.3	76.3	3.4	16.9

▲：増加 ▲：上昇 ▲：好転 ▲：長期化 ▲：容易  
 ○：不変(A, C, F, G, H, I) ○：不変(D, N) ○：不変(B, E, J) ○：不変(K) ○：不変(L, M)  
 ▼：減少 ▼：低下 ▼：悪化 ▼：短期化 ▼：困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区分	実施・計画している									実施・計画していない
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	10.4	0.0	0.0	14.3	14.3	42.9	28.6	0.0	14.3	89.6
来期	10.4	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	71.4	0.0	0.0	89.6

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	3.0	10.6
新規参入業者の増加	3.0	9.1
材料単価の上昇	4.5	33.3
材料の入手難	0.0	1.5
人件費の増加	0.0	6.1
材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	9.1
請負単価の低下・上昇難	24.2	60.6
下請単価の上昇	0.0	1.5
金利負担の増加	0.0	1.5
取引条件の悪化	7.6	22.7
事業資金の借入難	4.5	15.2
従業員の確保難	0.0	3.0
熟練技術者の確保難	1.5	3.0
下請業者の確保難	1.5	1.5
官公需要の停滞	29.0	45.5
民間需要の停滞	21.2	65.2
その他	0.0	0.0

### 3.卸売業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成20年10月~12月)の水準			
	今	期	前	D・I
業 況(自 社)	5.1	39.2	55.7	-50.6
売 上 対 する 商 品 在 庫	20.5	71.8	7.7	12.8
採 算(経常利益)	12.7	59.5	27.8	-15.1
引 合 計	1.3	44.7	54.0	-52.7
従 業 員(含臨時・パート)	8.0	82.7	9.3	-1.3

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ぶつう、適正、収支トントン  
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成19年10月~12月)に比べて				前期(平成20年 7月~ 9月)に比べて				前年同期(平成19年10月~12月)と比べた 来 期(平成21年 1月~ 3月)の見通し			
	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I
A 売 上 額	11.5	34.6	53.9	-42.4	26.9	39.8	33.3	-6.4	2.6	42.3	55.1	-52.5
B 売 上 単 価	37.6	37.7	24.7	12.9	25.6	53.9	20.5	5.1	19.2	56.4	24.4	-5.2
C 資 金 繰 り	1.3	69.4	29.3	-28.0	2.7	74.3	23.0	-20.3	4.0	58.7	37.3	-33.3
D 商 品 仕 入 単 価	57.1	28.6	14.3	42.8					38.5	43.6	17.9	20.6
E 商 品 仕 入 数 量	13.0	44.1	42.9	-29.9					5.1	48.7	46.2	-41.1
F 商 品 在 庫 数 量	15.6	48.0	36.4	-20.8					7.7	55.1	37.2	-29.5
G 採 算(経常利益)	7.7	47.4	44.9	-37.2					5.1	52.6	42.3	-37.2
H 従 業 員(含臨時・パート)	2.7	79.5	17.8	-15.1					1.4	84.9	13.7	-12.3
I 外 部 人 材(請負・派遣)	2.0	88.2	9.8	-7.8					2.0	94.0	4.0	-2.0
J 引 合 計	6.8	43.2	50.0	-43.2								
K 業 況(自 社)	10.4	39.0	50.6	-40.2	13.2	43.4	43.4	-30.2	6.7	49.3	44.0	-37.3
L 受 取 手 形 期 間					3.1	95.3	1.6	1.5	1.6	96.8	1.6	0.0
M 長 期 資 金 借 入 難 度					5.6	77.7	16.7	-11.1	5.6	77.5	16.9	-11.3
N 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					5.8	79.7	14.5	-8.7	5.9	79.4	14.7	-8.8
O 借 入 金 利					16.9	77.5	5.6	11.3	13.0	78.3	8.7	4.3

↗ : 増加  
 - : 不変(A, E, F, H, I, J)  
 ↘ : 減少  
 ↗ : 上昇  
 - : 不変(B, D, O)  
 ↘ : 低下  
 ↗ : 好転  
 - : 不変(C, G, K)  
 ↘ : 悪化  
 ↗ : 長期化  
 ↘ : 短期化  
 ↗ : 容易  
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資 (単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	倉 庫	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	15.2	0.0	8.3	8.3	33.3	0.0	50.0	0.0	8.3	84.8
来 期	11.5	0.0	11.1	33.3	22.2	0.0	44.4	11.1	11.1	88.5

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1~3位
大 企 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	0.0	2.6
メーカ-の進出による競争の激化	2.6	9.1
小 売 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	2.6	10.4
新 規 参 入 業 者 の 増 加	0.0	1.3
店 舗 ・ 倉 庫 の 狭 隘 ・ 老 朽 化	2.6	3.9
商 品 在 庫 の 過 剰	1.3	7.8
人 件 費 の 増 加	1.3	5.2
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	5.2	20.8
販 売 単 価 の 低 下 ・ 上 昇 難	7.8	45.5
仕 入 単 価 の 上 昇	15.6	46.8
金 利 負 担 の 増 加	0.0	3.9
代 金 回 収 の 悪 化	5.2	19.5
事 業 資 金 の 借 入 難	1.3	11.7
従 業 員 の 確 保 難	0.0	1.3
需 要 の 停 滞	54.5	74.0
そ の 他	0.0	1.3

## 4.小 売 業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成20年10月~12月)の水準			
	今	期	前	D・I
業 況(自 社)	8.0	24.1	67.9	-59.9
売 上 対 する 原 材 料 在 庫	23.0	58.6	18.4	4.6
採 算(経常利益)	4.6	51.7	43.7	-39.1
従 業 員(含臨時・パート)	8.3	81.0	10.7	-2.4

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ぶつづ、適正、収支トントン  
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成19年10月~12月)に比べて				前期(平成20年 7月~ 9月)に比べて				前年同期(平成19年10月~12月)と比べた 来 期(平成21年 1月~ 3月)の見通し			
	前	年	同	D・I	前	期	同	D・I	前	年	同	D・I
A 売 上 額	15.6	18.9	65.5	-49.9	15.6	26.7	57.7	-42.1	11.1	27.8	61.1	-50.0
B 客 単 価	10.1	34.8	55.1	-45.0	10.1	41.6	48.3	-38.2	4.5	38.2	57.3	-52.8
C 客 数	12.4	36.0	51.6	-39.2	10.1	39.3	50.6	-40.5	7.9	38.2	53.9	-46.0
D 資 金 繰 り	1.1	59.1	39.8	-38.7	1.1	56.2	42.7	-41.6	0.0	53.9	46.1	-46.1
E 商 品 仕 入 単 価	35.6	40.0	24.4	11.2					31.1	43.3	25.6	5.5
F 商 品 仕 入 額	26.7	25.6	47.7	-21.0					17.8	28.9	53.3	-35.5
G 商 品 在 庫 数 量	12.2	55.6	32.2	-20.0					6.7	55.5	37.8	-31.1
H 採 算(経常利益)	5.6	37.1	57.3	-51.7					3.4	36.0	60.6	-57.2
I 従 業 員(含臨時・パート)	1.2	85.5	13.3	-12.1					1.2	89.2	9.6	-8.4
J 外 部 人 材(請負・派遣)	1.9	92.5	5.6	-3.7					0.0	90.7	9.3	-9.3
K 業 況(自 社)	前年同期(平成19年10月~12月)に比べて				前期(平成20年 7月~ 9月)に比べて				今 期(平成20年10月~12月)と比べた 来 期(平成21年 1月~ 3月)の見通し			
	10.2	29.5	60.3	-50.1	9.4	36.5	54.1	-44.7	6.7	37.1	56.2	-49.5
L 長 期 資 金 借 入 難 度					2.6	75.3	22.1	-19.5	0.0	75.0	25.0	-25.0
M 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					1.4	80.0	18.6	-17.2	0.0	77.5	22.5	-22.5
N 借 入 金 利					10.8	86.5	2.7	8.1	10.8	82.4	6.8	4.0

↗ : 増加  
 - : 不変(A, C, F, G, I, J)  
 ↘ : 減少  
 ↗ : 上昇  
 - : 不変(B, E, N)  
 ↘ : 低下  
 ↗ : 好転  
 - : 不変(D, H, K)  
 ↘ : 悪化  
 ↗ : 容易  
 - : 不変(L, M)  
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	8.9	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	62.5	0.0	12.5	91.1
来 期	6.7	16.7	33.3	33.3	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0	93.3

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1~3位
大・中型店の進出による競争の激化	15.1	31.4
同 業 者 の 進 出	5.8	8.1
購 買 力 の 他 地 域 へ の 流 出	5.8	15.1
消 費 者 ニーズの变化への対応	5.8	27.9
店 舗 の 狭 隘・老 朽 化	2.3	9.3
駐 車 場 の 確 保 難	3.5	7.0
商 品 在 庫 の 過 剰	1.2	7.0
人 件 費 の 増 加	3.5	8.1
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	0.0	14.0
販 売 単 価 の 低 下・上 昇 難	10.5	39.5
仕 入 単 価 の 上 昇	8.1	22.1
金 利 負 担 の 増 加	1.2	3.5
代 金 回 収 の 悪 化	1.2	3.5
事 業 資 金 の 借 入 難	2.3	7.0
従 業 員 の 確 保 難	0.0	5.8
需 要 の 停 滞	32.5	58.1
そ の 他	1.2	3.5

## 5. サービス業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成20年10月~12月)の水準			
	今	期	前	D・I
業 況(自 社)	2.2	31.1	66.7	-64.5
採 算(経常利益)	8.9	41.1	50.0	-41.1
従 業 員(含臨時・パート)	12.2	73.2	14.6	-2.4

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ぶつう、適正、収支トントン  
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成19年10月~12月)に比べて				前期(平成20年 7月~ 9月)に比べて				前年同期(平成19年10月~12月)と比べた 来 期(平成21年 1月~ 3月)の見通し			
	前	年	同	D・I	前	期	前	D・I	前	年	同	D・I
A 売 上 ( 収 入 ) 額	8.7	27.2	64.1	-55.4	6.5	32.6	60.9	-54.4	4.3	43.5	52.2	-47.9
B 客 単 価	3.3	53.4	43.3	-40.0	0.0	62.2	37.8	-37.8	0.0	62.2	37.8	-37.8
C 利 用 客 数	4.5	35.2	60.3	-55.8	5.7	42.0	52.3	-46.6	4.5	46.6	48.9	-44.4
D 資 金 繰 り	0.0	52.3	47.7	-47.7	2.3	51.2	46.5	-44.2	1.2	54.6	44.2	-43.0
E 仕 入 単 価 ( 材 料 等 )	51.8	40.0	8.2	43.6					43.5	48.3	8.2	35.3
F 採 算 ( 経 常 利 益 )	1.1	35.9	63.0	-61.9					2.2	41.3	56.5	-54.3
G 従 業 員 ( 含 臨 時 ・ パ ー ト )	6.0	80.9	13.1	-7.1					6.0	80.9	13.1	-7.1
H 外 部 人 材 ( 請 負 ・ 派 遣 )	0.0	75.4	24.6	-24.6					1.6	75.4	23.0	-21.4
I 業 況 ( 自 社 )	3.3	31.9	64.8	-61.5	2.2	36.7	61.1	-58.9	2.2	38.9	58.9	-56.7
L 長 期 資 金 借 入 難 度					4.9	53.1	42.0	-37.1	3.8	54.9	41.3	-37.5
M 短 期 資 金 借 入 難 度 ( 含 手 形 割 引 )					2.7	64.0	33.3	-30.6	2.7	64.0	33.3	-30.6
N 借 入 金 利					18.2	74.0	7.8	10.4	18.2	76.6	5.2	13.0

↗ : 増加  
 - : 不変 (A, C, G, H)  
 ↘ : 減少  
 ↗ : 上昇  
 - : 不変 (B, E, N)  
 ↘ : 低下  
 ↗ : 好転  
 - : 不変 (D, F, I)  
 ↘ : 悪化  
 ↗ : 容易  
 - : 不変 (L, M)  
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	建 物	サ-ビス設備	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	14.1	0.0	23.1	38.5	15.4	30.8	23.1	15.4	7.7	85.9
来 期	9.9	11.1	11.1	33.3	22.2	22.2	44.4	0.0	11.1	90.1

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1~3位
大企業の進出による競争の激化	8.3	17.9
新規参入業者の増加	2.4	7.1
利用者ニーズの変化への対応	11.9	45.2
店舗施設の狭隘・老朽化	0.0	6.0
人件費の増加	4.8	10.7
人件費以外の経費の増加	9.5	28.6
利用料金の低下・上昇難	4.8	21.4
材料等仕入単価の上昇	7.1	29.8
金利負担の増加	0.0	7.1
事業資金の借入難	4.8	20.2
従業員の確保難	1.2	3.6
熟練従業員の確保難	3.6	10.7
需要の停滞	39.2	60.7
その他	2.4	6.0